

翰林主编

零起点

日语听力
突破



上海交通大学出版社
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS



翰林主编

零起点 日语听力 突破

编者 王昕昕



上海交通大学出版社
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

零起点·日语听力突破/翰林主编. —上海:上海交通大学出版社,2012

(零起点系列)

ISBN 978-7-313-08633-4

I. 零... II. 翰... III. 日语—听说教学—自学参考资料 IV. H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2012)第 119746 号

零起点·日语听力突破

翰林 主编

上海交通大学出版社出版发行

(上海市番禺路 951 号 邮政编码 200030)

电话:64071208 出版人:韩建民

常熟市文化印刷有限公司印刷 全国新华书店经销

开本:880mm×1230mm 1/32 印张:10.375 字数:470 字

2012 年 9 月第 1 版 2012 年 9 月第 1 次印刷

印数:1~4030

ISBN 978-7-313-08633-4/H

ISBN 978-7-88844-673-1/H

定价(含 MP3):28.00 元

版权所有 侵权必究

告读者:如发现本书有印装质量问题请与印刷厂质量科联系
联系电话:0521-52219025

前言

语言是人类用来表达思想、进行交流的重要工具。据统计，人们在语言交际活动中，45%的时间是用于听，说占30%，读占16%，写占9%，可见听力在我们的交流过程中起着举足轻重的作用。

随着世界全球化的不断深化，不同国家之间的交流不断增多，而日本强大的经济地位和文化实力也使日语的国际地位越来越高，学习日语的人也越来越多。作为日语能力重要标志之一的听力水平，也成为各种考试题型中的香饽饽。当然，学习日语，就是为了交流所用，无论是日常交流也好，还是做导游、做口译，每一个都离不开超强的日语听力能力来做支撑。如果没有很高的听力水平，交流的基础也就不存在了。所以说，听和读一样，是人们学习、领悟语言的重要途径。

然而，听力水平的锻炼不是一朝一夕的事情，它需要强大的日语基础做后盾，更需要一个可以用日语进行交流的语言环境来不断锻炼学习者对所学知识的敏锐度和反应力。正因为如此，不知道有多少日语学习者在听上栽跟头。总之，无论是日常交流也好，还是工作上的交流，要想和他人言语上聊得愉快，首先就要在第一时间明白别人说了什么，只有这样才能达到畅快有效地交流。

本书包含150篇听力短文，内容包括神话故事、大和文化、世间百态、时事政治，涵盖面广，从多个角度以不同内容来训练读者的耳朵，从而提高听力水平。本书适用于日语初学者以及有一定日语基础的想要提高日语能力的人群，相信会成为读者提高听力水平的最佳伴侣。

以下是本书的基本结构：

- 1.文本。选文内容经典，涉足广泛，内容丰富，长短和难度适当。
- 2.句型。句型部分是对文本的补充和说明。让读者拥有扎实的基础，边听边学两不误。
- 3.单词。单词部分是将读者在听力过程中可能遇到的较难词汇以及较常用的词汇进行汇总解释，让读者记得更牢。
- 4.单项选择题。对一单元的词汇或语法进行一次简单的小测试，让学习更生动有趣。

最后，预祝每一位读者都能够在日语的学习中学有所成！

目录

第一章 传说故事

第一篇 本土传说 1

第一話	花咲じい	1
第二話	竹取物語	3
第三話	鶴の恩返し	5
第四話	浦島太郎	7
第五話	一寸法師	9
第六話	鶯姫	11
第七話	桃太郎	13
第八話	舌切り雀	15
第九話	さるかに合戦	17
第十話	一休和尚	19
第十一話	金太郎	21
第十二話	笠地蔵	23
第十三話	富士山と八ヶ岳	25
第十四話	雪おんな	27
第十五話	兔と狸	30

第二篇 西洋童话 32

第一話	白雪姫	32
第二話	ジャックと豆の木	35
第三話	北風と太陽	37
第四話	ライオンと鼠	39
第五話	亀と兔とのかけっこ	41
第六話	眠り姫	44

第七話	ナイチンゲール	47
第八話	三匹の熊	49
第九話	狼と七匹の小山羊	52
第十話	ロバの耳の王子	54
第十一話	赤頭巾	57
第十二話	裸の王様	59
第十三話	マッチ売りの少女	62
第十四話	カラスと水差し	64
第十五話	ライオンと羊飼い	66

第二章 大和文化

第一篇 传统艺能

第一話	歌舞伎	69
第二話	狂言	70
第三話	落語	72
第四話	相撲	74
第五話	生け花	76
第六話	茶道	77
第七話	盃蘭盆	79
第八話	思い出の人形	82
第九話	日本舞踊	84
第十話	日本の祭り	86
第十一話	焼き物	88
第十二話	漫才	89
第十三話	講談	91
第十四話	三味線	93
第十五話	文楽	94
第十六話	日本画	96
第十七話	浮世絵	97
第十八話	書道	99

第十九話	漆器	101
第二十話	日本刀	103

第二篇 时尚潮流

第一話	ブログは「参考書」なのです	104
第二話	アキバ系ファッション	106
第三話	母の悩み	108
第四話	浜崎あゆみ	111
第五話	資生堂	113
第六話	ドクターフィッシュ	115
第七話	ゲーム	117
第八話	オンライン結婚	119
第九話	目覚まし時計の大流行	121
第十話	大英博物館で日本の漫画紹介	123
第十一話	「トトロ」の美術監督・男鹿和雄原画展	126
第十二話	太宰「人間失格」映画化!	128
第十三話	紅白歌合戦: 司会は今年も仲間・中居コンビ	130
第十四話	マイケル・ジャクソンの急逝	132
第十五話	「時代の精神」への切実な思い	134
第十六話	マイケル・ジャクソン THIS IS IT	136
第十七話	イブ・サンローラン	138
第十八話	甲子園	140
第十九話	映画祭	142
第二十話	日本の女の子	145

第三章 世间百态

第一篇 自然世界

第一話	マンモスの警告	147
-----	---------	-----

第二話	春が来た.....	149
第三話	天から送られる手紙——雪.....	151
第四話	夜空の星.....	153
第五話	砂漠化.....	155
第六話	桃.....	157
第七話	春雨.....	159
第八話	地震.....	161
第九話	並木.....	163
第十話	地球温暖化.....	165

第二篇 社会生活.....167

第一話	人口の自然減.....	167
第二話	教育.....	169
第三話	交通事故.....	171
第四話	家族伝統の消滅.....	173
第五話	夏休み短縮.....	175
第六話	匿名社会.....	177
第七話	染髪.....	179
第八話	年賀状.....	182
第九話	宝くじ.....	184
第十話	東京の姿.....	186
第十一話	医療.....	188
第十二話	集団と個体.....	190
第十三話	女性.....	192
第十四話	方言.....	194
第十五話	テレビ.....	196
第十六話	四月のこと.....	198
第十七話	手品.....	201
第十八話	禁煙.....	203
第十九話	岩波文庫.....	205
第二十話	借金.....	207

第三篇 科学技术	209
第一話 ふたりの科学の巨人	209
第二話 魚	211
第三話 日食	214
第四話 月探査機	216
第五話 医学の秘密	218
第六話 ノーベル賞	211
第七話 ミッキーとネズミ	223
第八話 野菜	225
第九話 仁科芳雄博士	228
第十話 どこからでも家中の機器につながる	230

第四章 時事政治

第一篇 安倍时期	232
第一話 美しい国へ	232
第二話 安倍首相	234
第三話 信念	236
第四話 政権を揺るがす	239
第五話 演説	241
第六話 レジーム	243
第七話 温家宝首相の国会演説	246
第八話 拉致問題	248
第九話 安倍首相辞任	250
第二篇 福田时期	252
第一話 福田首相	252
第二話 小沢一郎	255
第三話 財務相	257

第四話	橋	259
第五話	楷書の首相	262
第六話	年頭会見	264
第七話	党首討論	266
第八話	金融危機	269
第九話	石原知事の失敗	271
第十話	首相の矢	273

第三篇 麻生时期 276

第一話	麻生太郎	276
第二話	麻生首相の口癖	278
第三話	政府の嘘	280
第四話	麻生首相の笑顔	283
第五話	核兵器	285
第六話	サーブ権	287
第七話	自民党の苦戦	290
第八話	政権交代ムード	292
第九話	歴史的な掃除	294
第十話	三党連立	296

第四篇 安鳩山当政 299

第一話	鳩山政権	299
第二話	内閣の支持率が62%になった	301
第三話	広島と長崎が五輪に名乗りを上げる	303
第四話	忙しい内政外交	305
第五話	沖縄	307
第六話	アフガン	309
第七話	財政と税収	311
第八話	住まい	313
第九話	指揮者	315
第十話	違ひし志	317

第一篇 本土传说

第一話 花咲じじい

「花咲じじい」は日本の昔話の中でとても有名です。それでは、この有名な昔話の一部分を紹介いたします。

昔、あるところにお爺さんとお婆さんがいました。

お爺さんとお婆さんは、白い犬を飼っていました。

二人は、白や、白やと言って、犬をかわいがって育てていました。ある日、お爺さんが畑にいと、白が着物のすそをくわえて、畑の隅に連れて行きました。

そして、

ここほれわんわん。

ここほれわんわん。

と足で土を掘りました。

はてな、と、おじいさんがそこを掘ってみると、ぴかぴかの小判がざくざくと出てきました。

おじいさんのうちは、大変なお金持ちになりました。

句型

① ～に～がいる 某人/动物在某处

「に」是表示场所的助词；「が」是提示主语的助词；「いる」是动词，意为“在”，一般用于有生命的人或物，与「ある」相对，「ある」一般用于无生命物体的存在。

例 1. 教室に学生がいます。

学生在教室里。

2. 机の下には猫がいます。

猫在桌子下面。

② ～になる 成为，变成

「になる」前接体言，表示状态的变化。

例 1. 私は将来日本語科の先生になりたいです。

将来，我想成为日语老师。

2. おたまじゃくしが蛙になりました。

蝌蚪变成了青蛙。

生词

単語	释义	単語	释义
【咲く】 <small>さく</small> 动	(花) 开, 开放	【着物】 <small>きもの</small> 名	服装, 和服
【爺】 <small>じい</small> 名	老爷爷, 老头	【裾】 <small>すそ</small> 名	下摆, 山麓, 下游

续表

单词	释义	单词	释义
【昔話】名 <small>むかしばなし</small>	传说, 故事	【銜える】动 <small>くわ</small>	衔, 叼
【有名】名、形动 <small>ゆうめい</small>	有名的	【わんわん】副	汪汪
【紹介】名、动 <small>しょうかい</small>	介绍	【連れる】动 <small>つ</small>	率领, 带着, 伴随
【昔】名 <small>むかし</small>	从前, 往昔	【ぴかぴか】副	闪闪发光
【お爺さん】名 <small>おやさん</small>	爷爷, 祖父	【ざくざく】副	大把大把, 沙沙, 刷刷
【お婆さん】名 <small>おばさん</small>	奶奶, 祖母	【大変】副、形动 <small>たいへん</small>	非常, 相当, 不得了
【飼う】动 <small>かう</small>	饲养, 喂养	【金持ち】名 <small>かねもち</small>	有钱人, 富翁, 大款
【育てる】动 <small>そだ</small>	养育, 培养, 发展		

单项选择题

1. 田中さんの奥さんはとてもきれいな犬をかっています。()

- A. 買 B. 飼 C. 支 D. 養

2. 父は畑で芋をほっています。()

- A. 彫 B. 挖 C. 掘 D. 刨

翻译

能使枯树开花的老爷爷

《能使枯树开花的老爷爷》是日本的传说故事中非常有名的一篇。下面是节选自这一名篇中的片段。

从前, 有个地方住着一位老爷爷和一位老奶奶。

老爷爷和老奶奶养了一条狗。

他们很喜爱这条狗, 总是“小白”“小白”地叫它, 小狗渐渐长大了。

有一天, 老爷爷在田里干活, 小白叼着老爷爷的衣襟, 把他拽到田地的一个角落里, 用爪子挠着他刨土, 好像在说:

“快挖这里, 汪汪!”

“快挖这里, 汪汪!”

结果, 老爷爷把那里挖开一看, 发现好多闪闪发光的金币。

老爷爷一下子变成了大富翁。

答案

1. B 2. C

第一篇 本土传说

第二話 竹取物語

昔々、ある村にお爺さんとお婆さんがいました。おじいさんは毎日竹やぶに行き、竹を取り、竹からいろいろなものを作って暮らしていました。ある日、竹やぶに行くと、不思議な竹を見つけました。その竹の根元が光っていました。

おじいさんは「何でこの竹は光っているんだろう。」と思って、竹を切ってみて驚きました。切った竹の節の間に、とてもかわいい女の子がいたのです。おじいさんは小さな子を手のひらに乗せて、急いで家に帰りました。

おじいさんとお婆あさんはこの女の子に「かぐや姫」という名をつけて、かわいがって育てました。かぐや姫はとても早く大きくなって、光り輝くほど美しい娘になりました。

句型

① ～に／へ行く 去某处

「に」、「へ」为表示方向的助词，前接场所或地点，后接移动性动词，意为“去往某处”。

- | | | |
|---|---------------------|------------|
| 例 | 1. 田中さん、どこへ行きますか。 | 田中，你去哪儿？ |
| | 2. 図書館へ行きます。 | 我去图书馆。 |
| | 3. 夏休みに、アメリカに行きました。 | 暑假里，我去了美国。 |

② ～と思う 认为……，想……

「と」前面接所想内容，可以是一个完整的句子。表示意志时，可用「～う（よう）と思う」的句型。

- | | | |
|---|----------------------------|--------------------|
| 例 | 1. 李さんはとてもいい人だと思います。 | 我认为小李是个好人。 |
| | 2. 明日、朝が早いから今日は早く寝ようと思います。 | 明天早晨要早起，所以我想今天早点睡。 |

生词

单词	释义	单词	释义
【竹】名 <small>たけ</small>	竹子	【間】名 <small>ま</small>	空当, 间隔, 空隙
【藪】名 <small>やぶ</small>	草丛, 竹丛, 灌木丛	【かわいい】形 <small>ちい</small>	可爱的
【取る】动 <small>と</small>	拿, 获得, 取	【小さな】连体 <small>ちい</small>	小的
【いろいろ】副 <small>く</small>	许多, 各种各样	【平】名 <small>ひら</small>	平的, 普通
【暮らす】名 <small>く</small>	生活	【乗せる】动 <small>の</small>	盛上, 装上
【不思議】形动 <small>ふしぎ</small>	不可思议	【急ぐ】动 <small>いそ</small>	赶紧, 赶忙
【見つける】动 <small>み</small>	找到, 发现	【帰る】动 <small>かえ</small>	回家, 回去
【光る】动 <small>ひか</small>	发光	【かわいがる】动 <small>かえ</small>	喜爱, 疼爱
【思う】动 <small>おも</small>	认为, 想	【輝く】动 <small>かがや</small>	闪烁, 闪耀
【驚く】动 <small>おどろ</small>	吃惊	【美しい】形 <small>うつく</small>	美丽的, 漂亮的

单项选择题

1. その案について、私はいい 思います。()
A. に B. を C. と D. だ
2. ふしぎなところに、優等生の王さんは今日授業をさぼった。()
A. 不思議 B. 不私議 C. 不思義 D. 不思儀

翻译

竹取物语

很久以前, 村子里有一对老夫妇。老公公每天都要到竹林去砍些竹子回来, 用竹子做成各种各样的东西卖钱过生活。有一天, 老公公像往常一样去竹林砍竹子时, 忽然看到一株根部发光的竹子, 老公公感到非常的不可思议, “这根竹子怎么会发光呢”, 老公公想, 砍开竹子一看, 老公公惊呆了。原来, 在竹子里居然有一个可爱的小男孩。老公公把小男孩放在掌心, 急忙赶回家去了。

老公公和老婆婆给这个小男孩取了个名字叫“赫夜姬”, 小心地抚养, 把她照顾得无微不至。赫夜姬在他们的精心抚育下很快就长大了, 变成了一个光彩照人的美丽姑娘。

答案

1. C 2. A

第一篇 本土传说

第三話 鶴の恩返し

昔々、貧乏で一人で住んでいる若い男がいました。

冬になり、雪がたくさん降っていました。ある日、深い雪の中を家に帰る途中、変な音が聞こえました。そのうめき声のような音がどこから来たのかを探しに、向こうの畑に行ってみました。泣いている鶴を一羽見つけました。その鶴は、羽に矢を受けていました。苦しんでいる鶴を助けようと思って、矢を抜いてやりました。助けられた鶴は空へ飛び立ちました。

そして、その男は家へ帰りました。一人暮らしの貧しい家なので、生活は寂しくて苦しく、普段は誰も尋ねてきません。しかしその夜、家の戸をとんとんと叩く音が聞こえました。

句型

① ～が聞こえ 听见，听到

表示听见时，用动词「聞こえる」，而不用「聞く」。且前面的助词为「が」而不是「を」。

- 例** 1. 教室から、泣き声が聞こえました。 教室里传来了哭泣声。
2. 昨日の夜、雷が聞こえました。 昨天晚上，我听见了雷声。

② ～のような 像……一样

「よう」在这里表示举例比较，可用来作比喻，表示某一事物与另一事物的相似之处。意为“像……一样”。

- 例** 1. あの子の顔が丸くてリンゴのようです。
那孩子的脸圆圆的像苹果。
2. 私は、将来王先生のような人になりたいです。
我希望将来能成为王老师那样的人。

生词

单词	释义	单词	释义
【恩返し】名 <small>おんがえ</small>	报恩	【矢】名 <small>や</small>	箭
【貧乏】名, 形动 <small>びんぼう</small>	贫穷, 贫困	【苦しむ】动 <small>くる</small>	痛苦, 烦恼
【若い】形 <small>わか</small>	年轻的	【助ける】动 <small>たす</small>	帮助, 救助
【深い】形 <small>ふか</small>	深的	【抜く】动 <small>ぬ</small>	拔
【途中】名 <small>とちゅう</small>	中途, 半途	【飛び立つ】动 <small>と</small>	飞起, 飞上天空
【変】形动 <small>へん</small>	奇怪的, 怪异的	【生活】名 <small>せいかつ</small>	生活
【呻き】名 <small>うめ</small>	呻吟	【寂しい】形 <small>さび</small>	寂寞的
【探す】动 <small>さが</small>	寻找, 搜寻	【普段】名, 形动 <small>ふだん</small>	平常
【向こう】名 <small>むこう</small>	对面	【訪ねる】动 <small>たず</small>	拜访
【泣く】动 <small>な</small>	哭泣	【戸】名 <small>と</small>	门
【鶴】名 <small>つる</small>	鹤	【とんとん】	咚咚
【叩く】 <small>たた</small>	敲, 叩		

单项选择题

1. 窓の外から、鳥の鳴き声 聞こえました。()

A. に B. が C. を D. は

2. 人の部屋に入る前に、とを叩くことがマナーです。()

A. 門 B. 問 C. 戸 D. 窓

翻译

仙鹤报恩

从前有一个贫穷的年轻男子，一个人生活着。

到了冬天，下起了很大的雪。有一天，他踏着厚厚的雪走在回家的路上，听到了一个很奇怪的声音。为了搞清楚这种像呻吟一样的声音是从哪里来的，他走到了对面的田地里去看，结果发现是一只仙鹤在叫着。这只仙鹤的翅膀上中了一支箭。这个男子很想帮助这只仙鹤减轻痛苦，就把它翅膀上的箭拔了出来。然后，那只得救的仙鹤飞回了天空中。

接着，那个男子回到了家里。因为他是贫穷的单身汉，生活十分寂寞清苦，平时也没什么客人。然而就在那天，门口传来了咚咚的敲门声。

答案

1. B 2. C

第一篇 本土传说

第四話 浦島太郎

故郷について、浦島太郎は家に帰ろうと思いましたが、村を歩いたら、何か不思議な感じがしました。村の様子がなんとなく変わったみたいで、村の人も知らない人ばかりでした。

家があるはずである場所に行ってみると、家は影も形もありませんでした。村の人に聞いたら、だれも浦島太郎の家がどこにあるのか知りませんでした。最後に村の一番年上のおじいさんに聞いてみると、「浦島太郎という人は、海に行ったまま戻らなかった若者の話だと思うけれど、それは三百年も前の話だよ。」とそのおじいさんが語りました。

句型

① ~について 关于……

「に」为表示对象的格助词，前接对象。在日语中，「～～について」と「～～をめぐって」等这些形式的短语常被作为论文或报告的标题。例如「日本の諺について」、「日本の国民性について」等。

- 例 1. この案について、皆さんのご意見を聞かせていただきたいです。
关于这个提议，我想听听大家的意见。
2. 彼女のことについて、私はぜんぜん知らないです。
关于她的事，我全然不知。

② ばかり 只，仅，

「ばかり」可作为表示限定的副助词。

- 例 1. 今日のテストはとても難しく、わからない問題ばかりだった。
今天的考试很难，净是不会答的题。
2. うちの息子は遊びばかりしています。
我家孩子整天只知道玩。